

## 高校生対象！夏休み企画 8/8～10

明石康・元国連事務次長が講義  
「世界市民明石塾」塾生募集中

関西学院大学は、将来、国連職員や外交官等、グローバルリーダーをめざす高校生を対象に「関西学院世界市民明石塾」を開講する。塾生の募集は5月20日(金)まで。

本塾は8月8日(月)～10日(水)の2泊3日の集中ゼミナールで、塾長は元国連事務次長の明石康・関西学院大学SGU招聘客員教授。その他にも国連・外交の第一線で活躍してきた大学教員が、高校生と寝食を共にし、直接指導する。

国際的な視野と主体的な課題解決力を養成することを目的に、グローバルリーダーに必要とされる資質の理解や主体的な人生プランの立て方などを学ぶ。

募集人数は30人。文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」(SGH)ならびに SGH アソシエイト指定校、および関西学院の院内校、継続校、教育連携校で学ぶ高校2～3年生が対象。英語と日本語の両方で講義するため、英検準1級以上程度の英語力も必要。書類選考により選考する。

- 日時:2016年8月8日(月)～10日(水) 2泊3日
- 場所:西宮上ヶ原キャンパス・関西学院千刈キャン
- 参加費:30,000円 ※ 交通費は別途実費負担
- 塾長:明石康・関西学院大学SGU招聘客員教授  
(元国連事務次長)
- 応募方法:関西学院大学の下記URLから提出書類をダウンロードして5月20日(金)(消印有効)までに提出する。<http://gap.kwansei.ac.jp/unfa/>
- 提出先・問い合わせ先:関西学院大学「関西学院世界市民明石塾」係(Tel:0798・54・6410)



本資料に関する報道関係者からの問い合わせは関西学院広報室(TEL:0798・54・6017)までお願いします。

神戸・西宮で開催！  
世界最大規模のワイン品評会IWC  
SAKE部門日本酒振興プロジェクトの学生が  
ボランティア通訳で活躍！

世界最大規模のワインの品評会であるIWC(インターナショナル・ワイン・チャレンジ)の「SAKE部門」の審査会と関連行事が5月16日～22日、西宮市や神戸市などで開かれる。ウェルカムパーティと受賞式の会場では、関西学院大学で日本酒振興プロジェクトに携わる学生12人がボランティア通訳を務める。

毎年数多くの蔵元が選りすぐりの酒を出品し競い合う大会。10周年を迎える今年は、灘(神戸)、伏見(京都)をはじめ全国から約1,000銘柄が参加し、審査員によるブラインド・テイस्टングにより決定する。審査員約80人は主にイギリスやフランスから来日し、英語話者が半数以上。学生はパーティ会場等の食事懇談中に各テーブルで、委員と酒造メーカーの方々との懇談の手助けや会場案内などをする予定。

日本酒振興プロジェクトは、留学が必須の国際学部の学生などが中心に活動し、日本文化の一つである日本酒の魅力を国内の若者向けに発信してきた。これまで、消費者動向調査や酒蔵メーカー「大関」との商品を共同開発したり、日本酒カクテル「宮モヒート」のPRに取り組んだりしました。

林三鈴さん(国際学部3年生)は「西宮をはじめ兵庫には世界に誇れる日本酒の文化がある。日本酒の良さを広げようと活動してきたが、今回は英語力を生かして通訳という形で貢献したい」と意欲を見せる。木本圭一・国際学部教授は「学生にとっては、実際の社会に出て経験を積むよい機会」と話している。

- ▼ウェルカムパーティ15日(日)18時～20時、西宮神社
- ▼授賞式 20日(金)11時～15時、生田神社



昨年の「西宮酒ぐらルネサンスと食フェア」で「宮モヒート」を出展した日本酒振興プロジェクトのメンバー(昨年10月、西宮神社)。今年は5月14・15日の「SAKEと食フェアinにしのみや」(西宮神社)で出展予定。